

名張市 詳細地区人口動態アンケート 結果

名張市民の皆様へ

昨年末に実施いたしました標記調査につきましては、お忙しい中、ご協力賜りまして、大変、ありがとうございました。ここに、基本的な内容ではありますが、結果がまとまりましたので、公表いたしたいと思います。なお、より詳細な分析を加えた専門的な内容を含んだ研究成果は、各種学会で論文として発表する予定です。

関西大学・助教授・北詰恵一

1. 調査の概要

【主旨】

本研究は、人口減少や少子高齢化時代を迎えて新たなまちづくりのあり方が問われている都市において、将来の充実した行政サービスを考える上で基礎となる地区別年齢構成別人口予測を行うために、詳細地区人口動態を把握することを目的としています。

【対象都市とデータの取り扱い】

名張市は、さまざまな特徴を持つ地区が含まれる都市であることから、研究対象として選ばせていただきました。また、統計的に抽出したいいくつかの地区の中から機械的に選んだ住宅に対して、このアンケート票を投函いたしました。

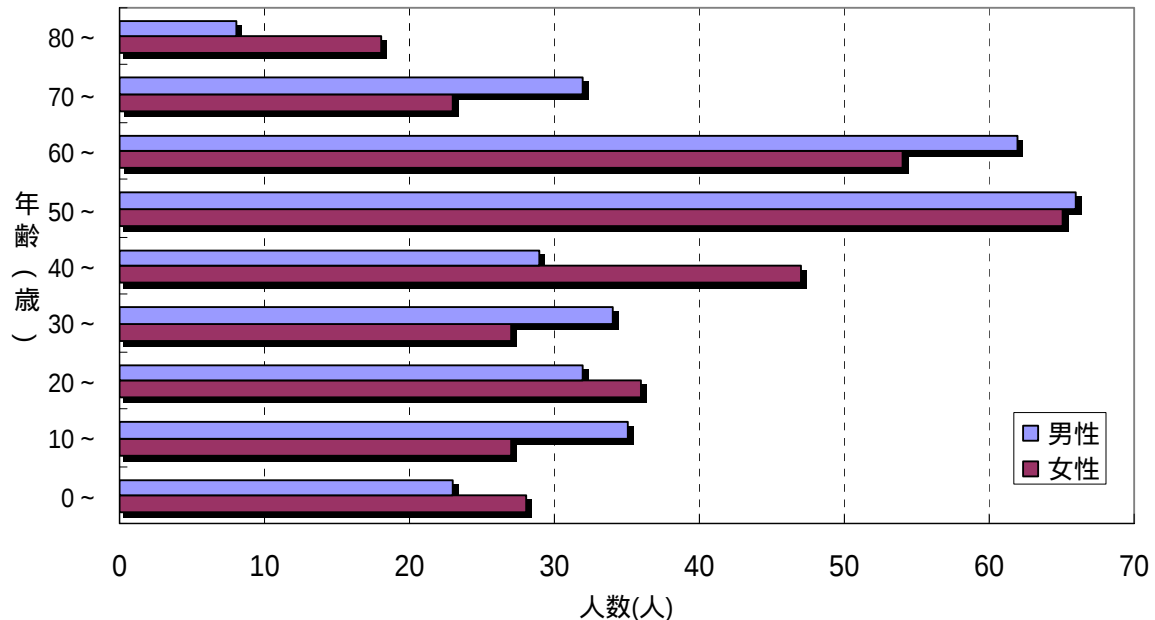
【回収状況】

1,400 通を投函し、248 票のアンケートを頂戴しました。回収率は、およそ 17.7%になります。

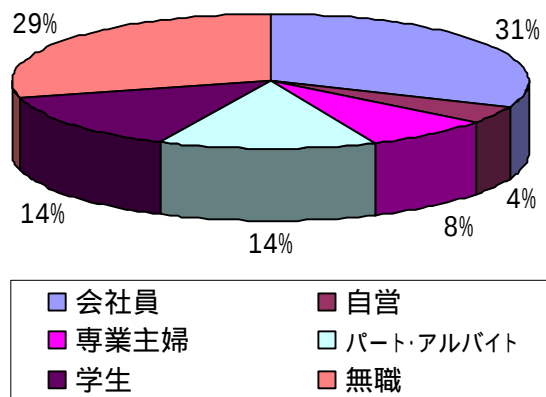
2. アンケート結果

質問 1 家族構成（同居している方）についてお伺いします。

男女別年齢構成(含家族)



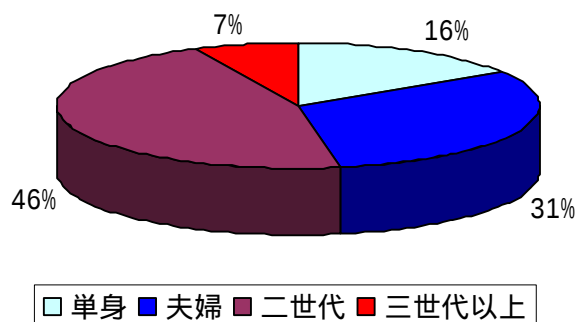
職業(含家族)



各回答票に記載されたご家族構成から、家族単位ではなく個人単位にして、人数を数えたものです。50歳代および60歳代が多いことがわかります。なお、40歳代の女性が男性に比べて非常に多くなっている点については、詳細を検討中です。

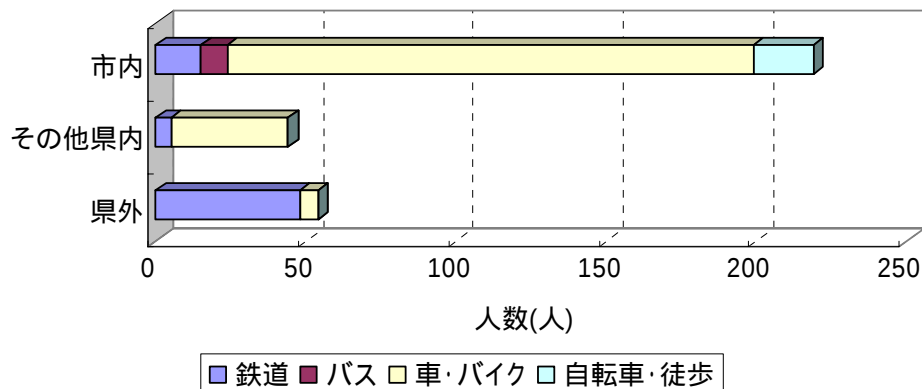
職業は、会社員が31%と最も多くなっています。上記の年齢構成と比較すると、専業主婦とお答えになった比率が少なく、会社員やパートに多くの女性が含まれています。無職の方も29%いらっしゃり、主に、ご高齢の方がこれにあてはまります。

世帯構成

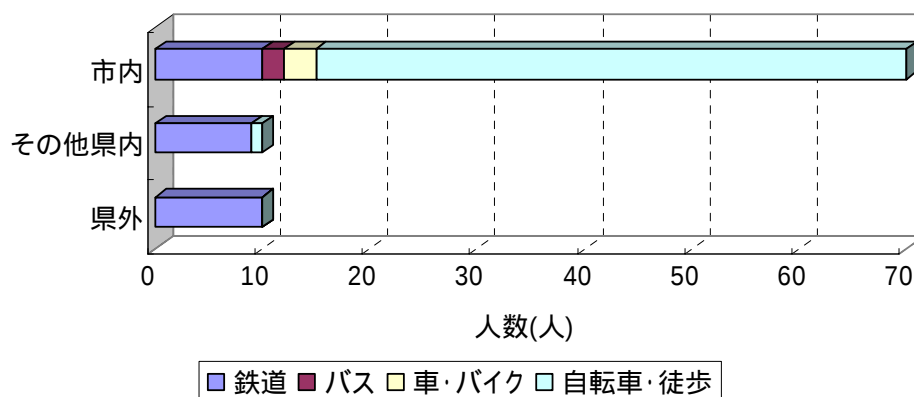


親と子という二世帯世帯が46%と最も多くなっています。また、若い夫婦と高齢の夫婦がともに入っていますが、夫婦という世帯構成も31%と大きな割合を示しています。

通勤先と利用交通手段

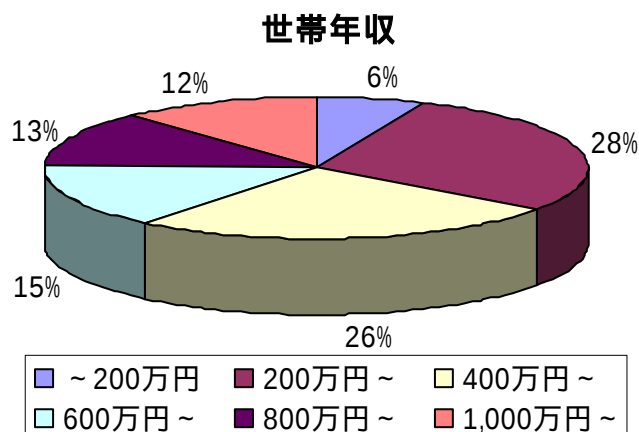


通学先と利用交通手段



通学先はもちろんのこと、通勤先も、圧倒的に市内が多いようです。交通手段は、通勤が車・バイク、通学が自転車・徒歩が、大半を占めます。

質問 2 ご家族全体での年収は、次のうちどれに該当しますか。回答は、1～6の中から一つ選び、☑を記入してください。



200 万円～400 万円、400 万円～600 万円の所得のご家族が、各 26～28%を占めています。全国的な平均年収から見ても、それほど乖離は無いと考えます。ただし、1,000 万円以上の方も 12%いらっしゃいます。

質問 3 現住所を、町丁目まで、回答欄にご記入ください。

地区分類	世帯数
名張および類似地区	46
美旗および類似地区	73
桔梗が丘南および類似地区	63
富貴ヶ丘および類似地区	63
合 計	245

アンケートの配布は、名張市のなかから、統計的に処理をした上で全体像を反映すると判断された左記の4地区とその類似地区に重点的に配布しました。名張地区が、若干少ないですが、各世帯数は、それぞれ均等に分かれています。

質問 4 あなたが現在お住まいの住宅の形式は、次のうちどれに該当しますか。回答は、1～7の中から一つ選び、☒を記入してください。

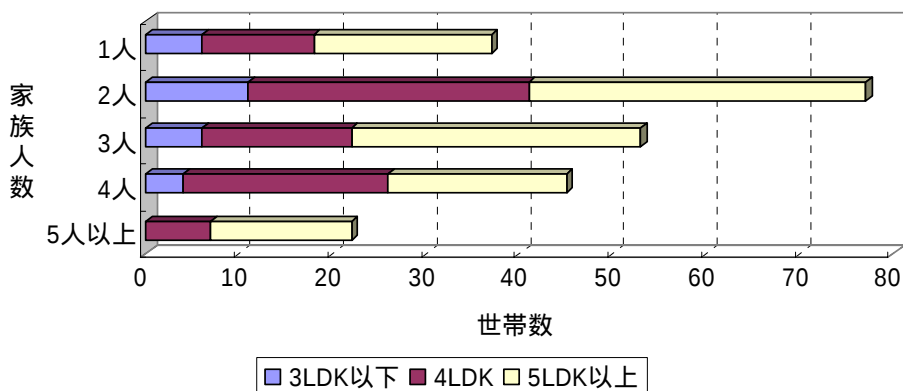
所有状況は、次のうちどれに該当しますか。一つ選んでください。

間取りは、次のうちどれに該当しますか。一つ選んでください。

建築後何年経過していますか。回答は、下の回答欄に数字でご記入ください。

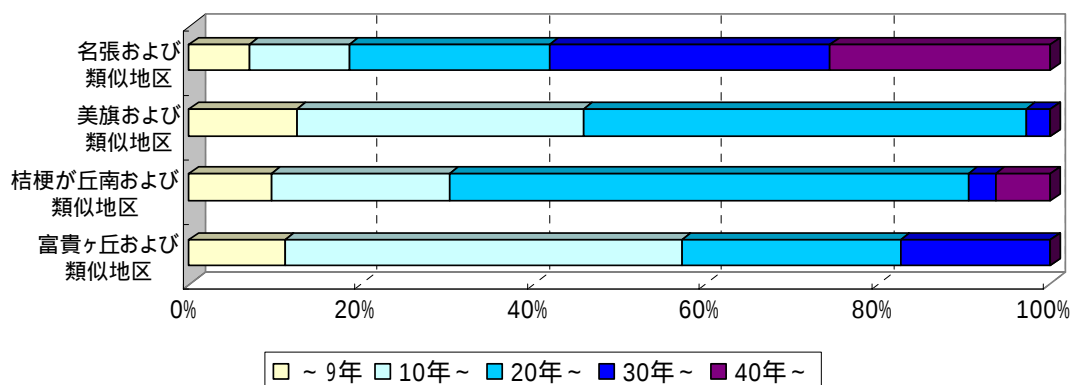
ご回答いただきました中で、ほとんどの答え(97%)が、住居専用の戸建て住宅でした。また、同様に、約95%が、ご自身で住居を所有されています。

家族人数別間取り



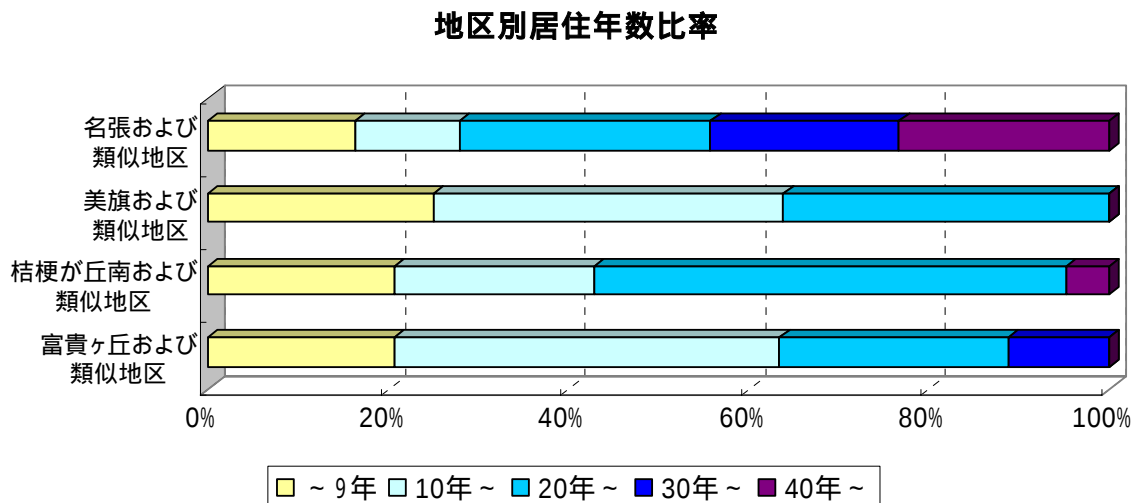
家族人数が増えるからといって、部屋数が増えるわけではないようです。5LDK 以上という広い家にお住まいの方は、他地域に比べて多いと思います。面積でのご回答が少なかったため、家に広さとの関係は判断できません。

地区別の築後年数比率



住宅の地区年数は、美旗地区、富貴ヶ丘地区において比較的新しいものが多く、名張地区は古いものが多いです。

質問 5 現在のお住まいに住んで何年になりますか。回答は、下の回答欄に数字でご記入ください。



質問 4 における、住宅の築後年数とほぼ対応しています。ただ、9 年以下の比率が少し高い状況が見られます。

質問 6 現在のお住まいに住む前は、どの地域にお住まいでしたか。1～3 の□のいずれかに☑を記入し、その番号の矢印の枠内を記入してください。(建て替えは含みません。)

		現 住 所				合 計
		名張および類似地区	美旗および類似地区	桔梗が丘南および類似地区	富貴ヶ丘および類似地区	
以 前 住 所	名張および類似地区	16	12	9	5	42
	美旗および類似地区	0	4	1	1	6
	桔梗が丘南および類似地区	0	1	4	0	5
	富貴ヶ丘および類似地区	2	0	0	8	10
	その他県内	0	7	5	1	13
	奈良県	1		11	4	16
	大阪府	11	41	26	37	115
	その他県外	4	4	5	7	20
	無回答	12	4	2		18
合 計		46	73	63	63	245

表は、表側が転居以前の住所、表頭が現住所を指します。表内の左上の 16 という数字は、名張地区から名張地区に引っ越した方が 16 世帯いらっしゃるという意味です。

表で色分けしましたが、大きく 3 つのグループに分けられると思います。1 つめのグループが、名張市外から転居してこられた方(68% (さらにそのうち 70%が大阪府))で、美旗地区を始め、富貴ヶ丘地区、桔梗が丘南地区にそれぞれ転入してきています。2 つめのグループが、市内での転居の方(27%)で、名張地区から、他の 3 地区に移動しています。3 つめのグループが、各地区内での移動です。生まれてからずっとその地にお住まいの方が 5%いらっしゃいました。

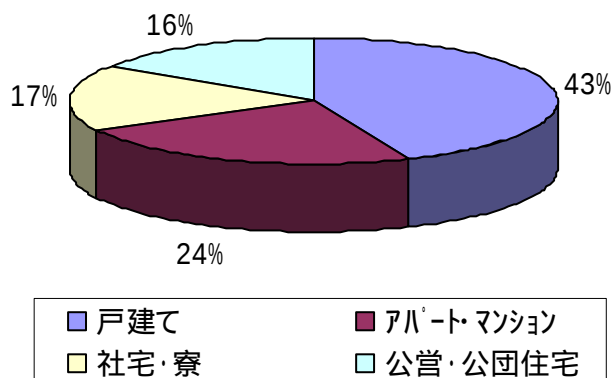
質問 7 以前お住まいの住宅の形式は、次のうちどれに該当しますか。回答は、1～7の中から一つ選び、☑を記入してください。

所有状況は、次のうちどれに該当しますか。一つ選んでください。

間取りは、次のうちどれに該当しますか。一つ選んでください。

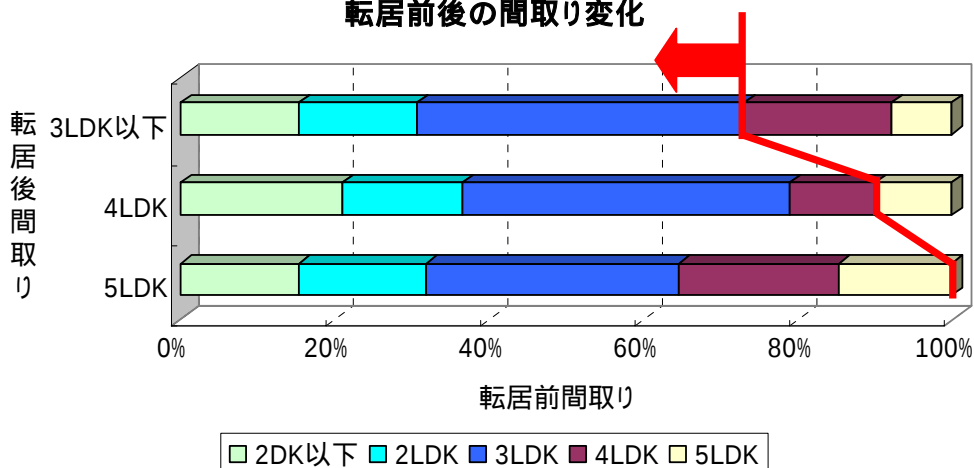
建築後何年経過していましたか。回答は、下の回答欄に数字でご記入ください。

転居以前の住宅形式

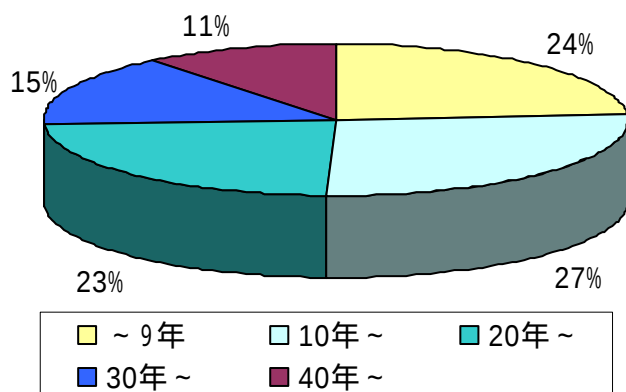


現在の住居の場合にはほとんどの方が、住居専用の戸建て住宅であったのに対し、転居以前の住宅形式は、図に示すように戸建てが 43%程度にとどまり、アパート・マンション、社宅・寮、公営・公団住宅が多いことがわかります。また、同様に、ほとんどの方は現在住居を保有されていますが、転居前は、半分を上回る 58%が賃貸でした。

転居前後の間取り変化



転居時点の住宅築年数

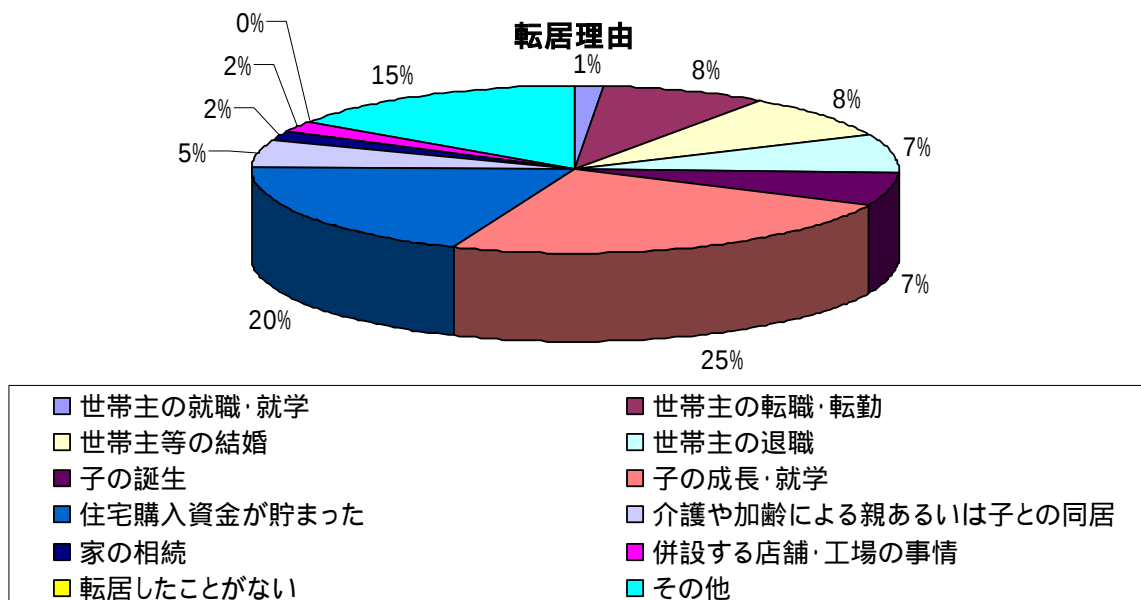


転居前後での間取りの変化を見ると、赤いラインで示した部分より左は、転居前より転居後の方が広いか同じであることを示しています。多くの方が、転居によって家が広がっています。

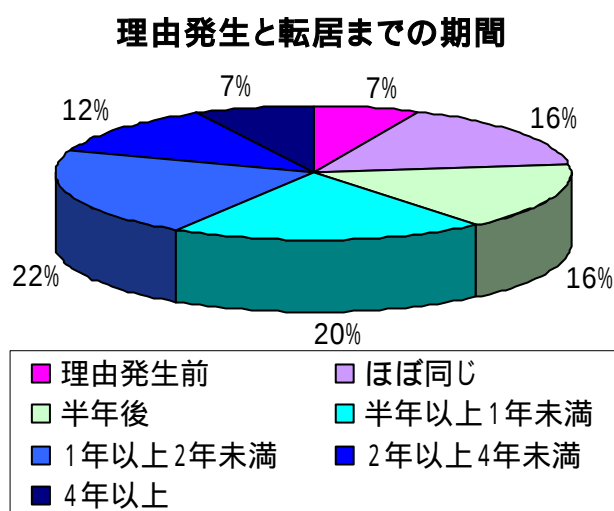
転居時点での住宅築年数をみると、20年以上経過していた方が約50%いらっしゃいます。現住居の築年数も、約半数の方が20年以上経過していることを考えると、転居やリフォームのニーズが高まってくるかもしれません。

質問 8 以前お住まいの住宅から転居しようと思った主な理由は何ですか。回答は、1～12の中から一つ選び、☑を記入してください。

その理由が発生してから、実際に転居するまでの期間はどれぐらいでしたか。

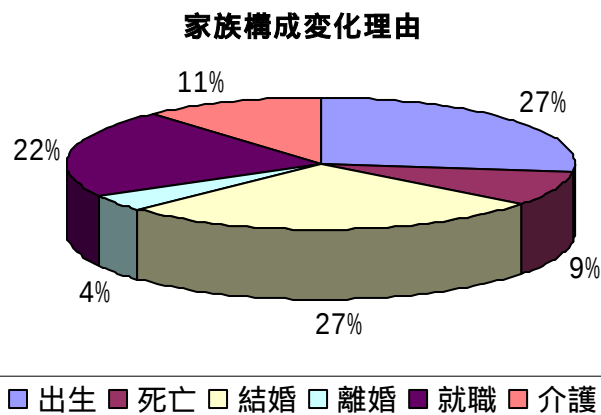


転居の理由がさまざまであることがわかりますが、その中でも、「子の成長・就学」が25%を占め、「子の誕生」と合わせると32%となります。「世帯主の転職・転勤、結婚、退職」なども合わせると20%を超えます。ご家族や世帯主のライフステージの変化が転居に大きく影響していることがわかります。また、市外や他県からこの地に戸建て持ち家を求めて転居してこられる方が多いことを反映して、「住宅購入資金が貯まった」とお答えになった方が20%いらっしゃいました。最近、注目されている「介護や加齢による同居」については5%となりました。



転居する際には、それなりの準備も必要です。住宅を購入するとなると、大変な思いで決心されることと思います。転居理由が発生してから実際に転居するまで、1年未満の方が52%に留まり、逆に1年以上かかった方が41%いらっしゃいます。一方で、予測される理由の場合はあらかじめ転居することも可能で、7%の方が事前に転居しています。

質問 9 転居時およびそれ以降に、同居する家族構成が変わりましたか。具体的にご記入ください。



同居する家族構成の変化については、お子様について約 75%、ご両親について約 16%、配偶者について約 6%のご回答がありました。理由については、ご回答いただいたものの中では、出生、結婚が各 27%、就職が 22%です。介護を理由とされる方が 11%にもなります。

質問 10 現在のお住まいの場所を選ぶとき、どの場所を選択肢として考えましたか。回答は、1 と 2 の中から選択肢となったものすべてに☑を記入し、お答えください。選択肢がなかった場合は 3. に☑を記入してください。

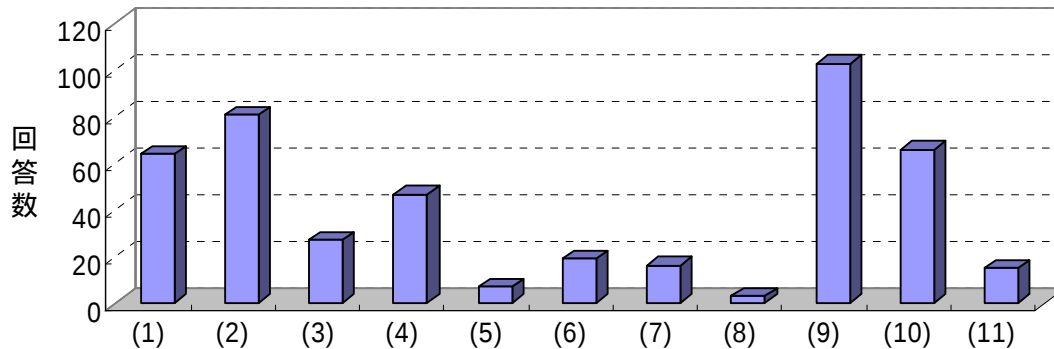
まず、34%の方が「選択肢無し」とお答えになりました。「介護や加齢による親あるいは子との同居」、「家の相続」というような理由以外の方でも、一定の比率で「選択肢無し」とのご回答を得ています。また、選択肢がある場合でも、これらの地区単位でみれば、たかだか3つの選択肢までしか想定されておらず、最も多い選択肢の数は2でした(約 64%)。

地区別に見ますと、

- ・名張地区にお住まいの方のほとんど(約 71%)は、名張地区か桔梗が丘地区という選択肢から名張を選ばれています。
- ・美旗地区にお住まいのかたは、約 33%ずつの方が、百合丘地区あるいは桔梗が丘地区との選択から選ばれたようです。そのほかの地区としては、約 10%以上の方が、それぞれ名張地区、つつじが丘地区、桔梗が丘西地区などとの選択の中から美旗地区を選ばれたようです。
- ・桔梗が丘南地区にお住まいの方のほとんど(約 74%)は、桔梗が丘地区との選択肢から選んでおられます。その他では、名張地区(約 17%)があげられ、また、県外の選択肢(約 13%)が多いのも特徴的です。
- ・富貴ヶ丘地区にお住まいの方の約 35%は、梅ヶ丘地区との選択から選んでおられます。その他では、名張地区(約 15%)があげられ、また、県外の選択肢(約 17%)も多い状況です。

質問 1 1 現在のお住まいの場所を選ぶときに、重要視したのはどの要因ですか。回答は、1～13の中からすべて選び、☒を記入してください。 また、最も重要視した要因を、○で囲ってください。

住宅地選択理由(複数回答)



- | | |
|-------------------|---------------------|
| (1)通勤・通学時間が短い | (2)駅やバス停から近い |
| (3)幹線道路にすぐ出られる | (4)日常の買い物に便利である |
| (5)託児・保育などが便利である | (6)子供の遊び場、公園が充実している |
| (7)希望の小中学校区である | (8)介護・医療機関が充実している |
| (9)自然とのふれあいが多 | (10)周辺地区の景観・イメージが良い |
| (11)近隣のつきあいが良好である | |

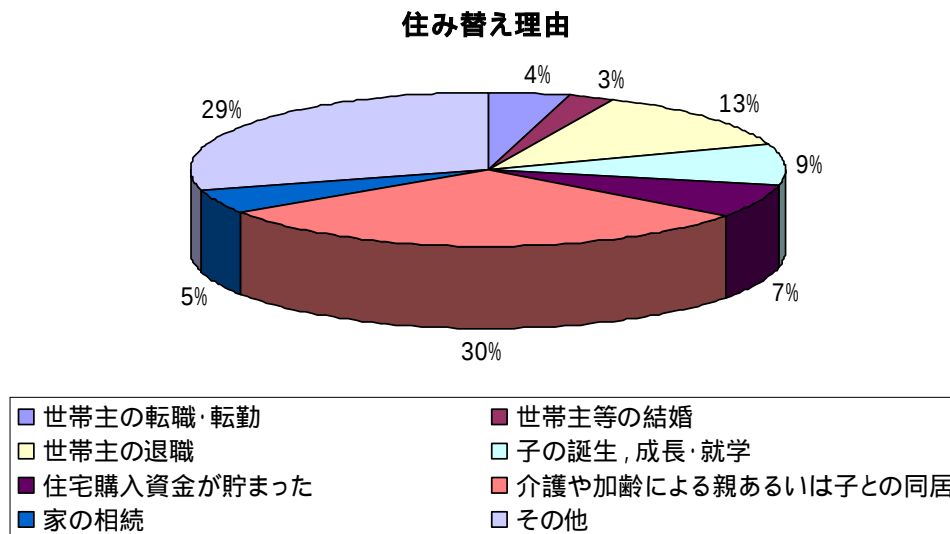
名張市の特徴を反映して、「自然とのふれあいが多

い」が最も多い理由でした。続いて、「駅やバス停から近い」や「通勤・通学時間が短い」などの利便性を評価されています。4番目に多い「周辺地区の景観・イメージが良い」というのを考え合わせると、快適性と利便性が住宅を決める主たる要因であるようです。

質問 1 2 将来の住み替えについて、次のうちどれに該当しますか。回答は、1～4の中から一つ選び、☒を記入してください。(建て替えは含みません)

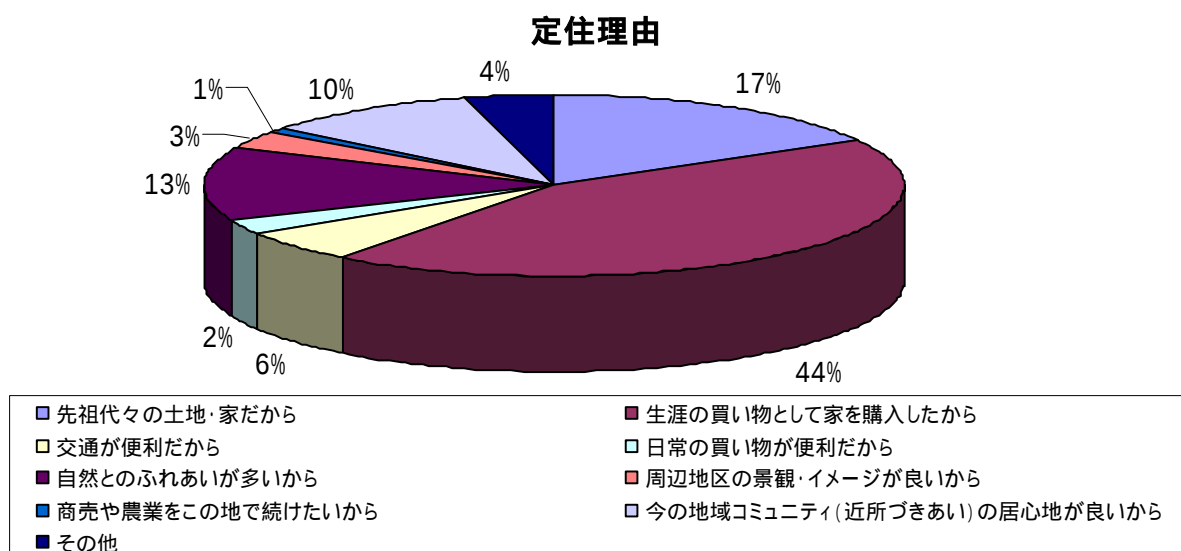
約 50%の方が定住するとお答えになりました。なお、「定住予定がある」が約 3%、「予定はないが可能性がある」が約 25%、「わからない」が約 22%となっています。

質問 1 3 質問 1 2 で 1 ～ 3 を選んだ方に質問します。想定される住み替えの主な動機は、次のうちどれに該当しますか。回答は、1 ～ 11 の中から一つ選び、☑を記入してください。



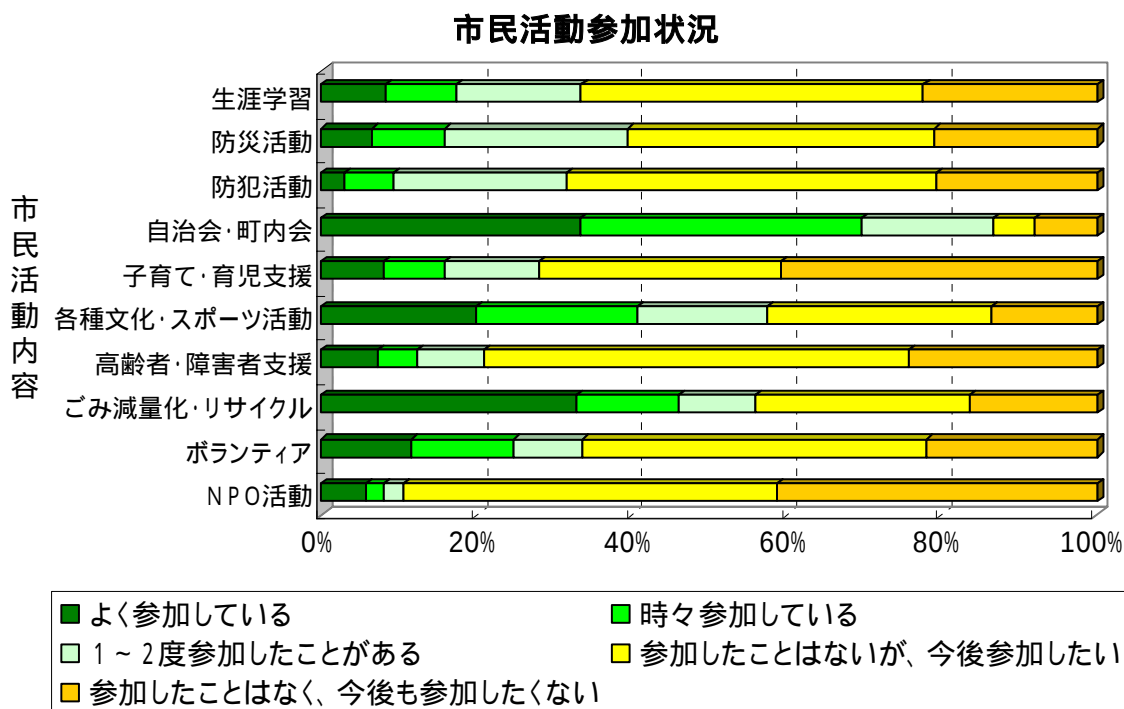
想定される住み替えの動機として、30%もの方が「介護や加齢による同居」をあげました。問 1 での回答者の年齢構成と考え合わせても、非常に大きな数字だと思います。多くの方が、その地での長年の生活を続けておられることから考えると、親あるいは子のいずれかが、介護を理由にそこで培ったコミュニティを離れることになることは、大きな問題であると考えます。

質問 1 4 質問 1 2 で 4 を選んだ方に質問します。現在の場所に定住する理由は、次のうちどれに該当しますか。回答は、1 ～ 10 の中から一つ選び、☑を記入してください。



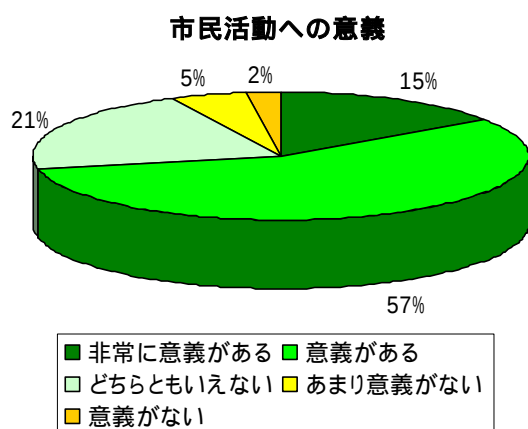
44%の方が、「生涯の買い物として家を購入したから」と答えられました。「先祖代々の土地・家だから」との答えも17%あります。問 11 と比較すると、「自然とのふれあいがいいから」という理由が13%と多いこともうなずけます。また、「今の地域コミュニティの居心地が良いから」という理由が10%あり、問 11 より増えている点も見逃せません。

質問 1 5 以下の市民活動について、あなた（あるいはご家族）は、どのような活動にどの程度参加していますか？ それぞれの活動について、最も参加されている方にあてはまる参加状況を ①～⑤の中から一つ選び、☒を記入してください。



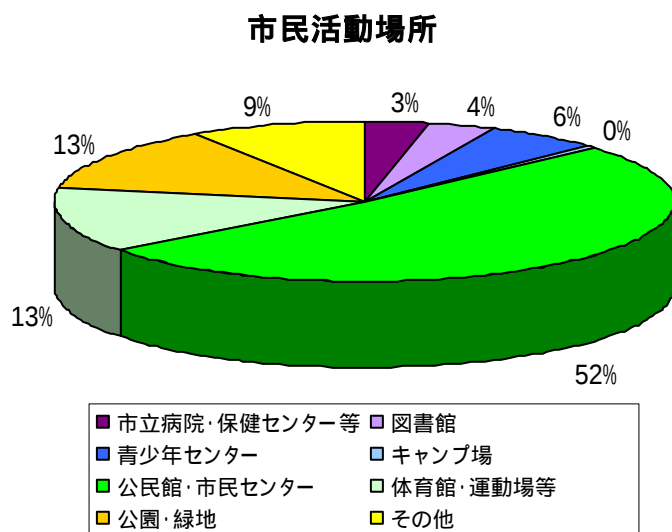
「自治会・町内会」、「各種文化・スポーツ活動」、「ごみ減量化・リサイクル」の順に、参加状況が良いようです。一方で、「NPO活動」や「高齢者・障害者支援」への参加は少ない状況です。多くの方が、それぞれの活動に対して「参加したことはないが今後参加したい」とお答えなっています。また、それぞれの活動で「今後も参加したくない」とお答えの方が約 20%いらっしゃいます。

質問 1 6 このような市民活動の意義について、どのようにお考えですか。一つ選んで、☒を記入してください。



15%の方が、「非常に意義がある」と回答し、57%の方が、「意義がある」と回答されました。今後、環境が整ってくれば、さらに、市民活動への参加が増えてくることが期待されます。

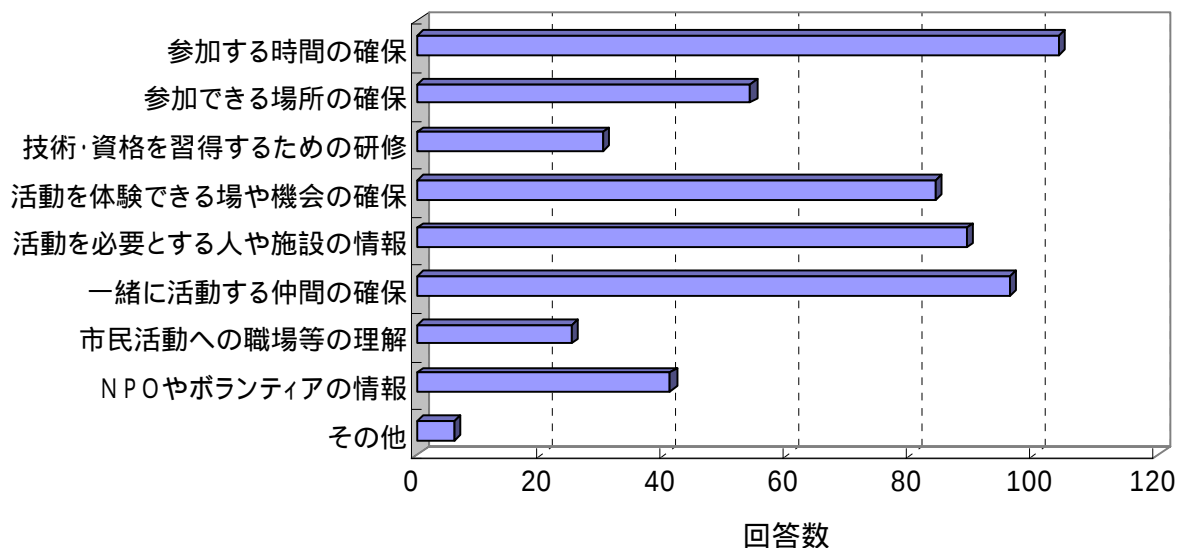
質問 17 市民活動を行う場合、主に、どこで行っていますか。回答は、1～8の中から一つ選び、☑を記入してください。



半数以上の方が公民館・市民センターとお答えになっています。活動内容として、自治会・町内会への参加状況が良いことも反映していると思います。同様に、活動状況の良い項目と対応して、体育館・運動場等、公園・緑地が各13%を占めています。地域に密着した施設が活動拠点になっていることが伺えます。

質問 18 今後、市民活動に取り組みやすくするために必要な事は何ですか？以下のものから当てはまるものをすべて選び、☑を記入してください。

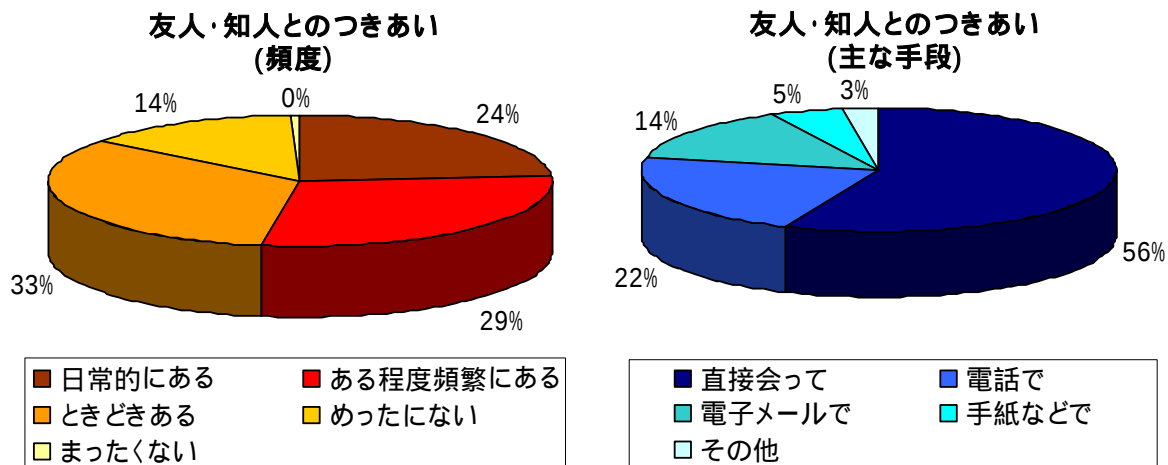
市民活動の取り組みに必要なこと



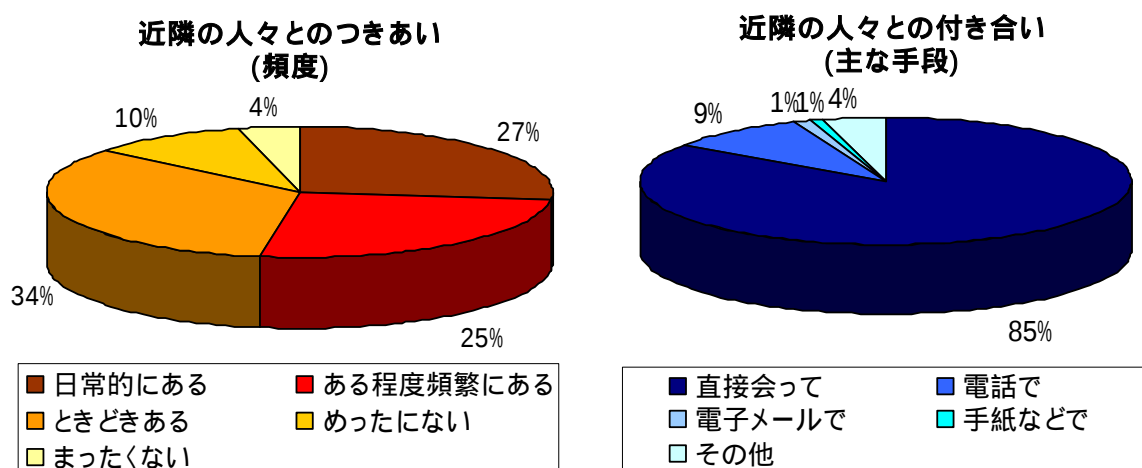
皆さん、やはり、お忙しいですね。市民活動の取り組みに必要なこととして、「参加する時間の確保」が最も多くあげられています。ついで、「一緒に活動する仲間の確保」、「活動を体験できる場や機会の確保」、「活動を必要とする人や施設の情報」などがあげられます。市民活動のための時間、場、情報の整備が、求められています。

質問 19 以下の①と②のそれぞれについて、あなたは普段どの程度の頻度でつきあいをされていますか。またその手段は主にどれですか？当てはまるものをそれぞれ1つずつ選び、☑を記入してください。

① 友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）



② 近隣の人々とのつきあい



つきあいの頻度は、友人・知人との場合と近隣の人々との場合の間でそれほど差はありませんでした。ただ、「めったにない」や「まったくない」が合わせて14%にのぼる点は、見逃せません。

付き合いの手段は、どんなに時代が情報化されても、やはり「直接会って」行われています。むしろ、こんな時代だからこそ、友人・知人や近隣の人々とは、直接会いたいのかもしれません。

以上、まだまだ、このアンケート結果からは、貴重な情報を抽出することができます。より深い分析を通じて、名張市の将来のあり方について考えていきたいと思います。改めまして、今回のアンケートご協力、ありがとうございました。